

指定管理者総括調書（令和 3年度）

基準日 令和 4年 3月 31日

施設名	大牟田観光物産館(①大牟田観光プラザ、②新大牟田駅観光プラザ)		
担当部署	産業経済部観光おもてなし課	電話番号	0944-41-2750

I 指定管理者の情報

指定管理者名及び代表者名	一般社団法人 大牟田観光協会 会長 白石政嗣		
指定管理者の所在地	大牟田市不知火町144-4		
指定期間	令和2年	～	令和7年
		選定方法	公募
指定管理者種類	<input type="checkbox"/> 市内企業 <input type="checkbox"/> 市外企業 <input type="checkbox"/> NPO・ボランティア団体等 <input type="checkbox"/> コミュニティ組織等 <input checked="" type="checkbox"/> 財団法人・社団法人・社会福祉法人・医療法人・学校法人 <input type="checkbox"/> その他		
業務の範囲	1) 市内及び近郊の観光案内に関すること。 2) 観光、物産及び催し等に関する情報の提供に関すること。 3) 地域物産の紹介、展示、販売等に関すること。 4) 観光の振興等に係る研修及び交流等に関すること。 5) その他観光物産館の設置の目的達成に必要なこと。		

II 施設の情報

所在地	①不知火町1丁目144-1 ②大字岩本2509-3		施設の設置目的	市内及び近郊の観光案内、観光、物産及び催し等に関する情報の提供を行うとともに、観光の振興等に係る研修及び交流等の場を提供し、もって本市の観光及び物産の振興に資するため。
設置年月	①H5年3月 ②H25年3月増改築年月			
施設の設置根拠	大牟田観光物産館条例			
敷地面積	敷地面積	①356.04 ②242	m ²	施設の概要
	延床面積	①356.04 ②159.94	m ²	
①観光情報コーナー、物産展示コーナー、情報交流コーナー、研修室、事務室等 ②観光情報発信コーナー、地場産品情報発信コーナー、イベント交流(地域交流)コーナー、サービス販売コーナー、事務室等				
実施事業の概要	休館日	毎週月曜日、12月31日～1月1日	開館時間	①午前9時30分～午後6時00分 ②午前9時00分～午後5時30分
	必須事業	1) 市内及び近郊の観光案内に関すること。 2) 観光、物産及び催し等に関する情報の提供に関すること。 3) 地域物産の紹介、展示、販売等に関すること。 4) 観光の振興等に係る研修及び交流等に関すること。 5) その他観光物産館の設置の目的達成に必要なこと。		
	提案事業	<input type="checkbox"/> イベント等 <input type="checkbox"/> 写真展示など <input type="checkbox"/> 商品の制作等 ジャー坊ネクタイ、ゴルフボール等		
料金	利用料金制度	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		

III 施設の利用状況

区分	R2年度実績		R3年度実績		R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
	単位	日	単位	人			
開館日数		284		311			
施設の総利用者数等							
	単位	人	①17,949 ②7,827	①14,973 ②10,432			
個別事業における利用状況等の推移							
施設利用状況等の推移	事業収入(大牟田観光プラザ)	(円)	214,205	172,820			
	事業収入(新大牟田駅観光プラザ)	(円)	47,453	58,489			
	委託販売分売上額(大牟田観光プラザ)	(円)	7,951,127	6,355,498			
	委託販売分売上額(新大牟田駅観光プラザ)	(円)	2,775,995	2,710,117			
	レンタサイクル事業(大牟田観光プラザ)	(円)	334,940	402,950			
	レンタカー事業(新大牟田駅観光プラザ)	(円)	0	0			
	研修室利用者(大牟田観光プラザ)	(人)	981	645			
利用料金収入	施設の利用料金収入	単位	千円				

IV モニタリング結果

管理運営評価シートの結果

評価結果	211点 / 270点 (平均点:3.9点)	I 施設の運営	107点 / 135点
		II 施設の管理	94点 / 120点
		III 継続性・安定性	10点 / 15点
		IV その他	0点 / 0点

モニタリング項目に関するコメント

	コメント
I 施設の運営	仕様書及び協定書に基づき概ね適切に運営されている。利用者アンケートを積極的に実施し、意見等があった際には迅速に対応、適正に対処されている。前回指摘していた内部職員向けの研修を実施できている。物産品の選定や陳列については、例えば、長期在庫の見直し、新規参入機会の拡大など、商品回転率向上の視点を持って売上増・リピート率を高める取組みが必要だと思われた。
II 施設の管理	施設管理についても概ね適切に対応がなされていた。前回より指摘していた新大牟田駅のAEDについてはみどりの窓口内の壁面に設置されていることから、駅員不在時は使用できない状態で、改善の進捗はなかった。緊急時の使用も想定されることからJR側との協議が必要。
III 継続性・安定性	経営状況については一部の項目で基準を満たしていないため、改善に向けた取組みが必要と思われる。
IV その他	特記なし

総 評

当該施設の運営状況については、アンケートを積極的に実施し、利用者から意見等があった際には迅速に対応するなど、円滑な運営を行っている。昨年、指摘していた自主研修も実施されており、より良い施設運営への姿勢が見られる。一方で、物産品の展示については、マーケティングの視点を持って取り組まれる事が必要だと思われた。また、経営状況については一部の項目で基準を満たしていないため、改善に向けた取組みが必要と思われる。